

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10240436 A
 (43) Date of publication of application: 11.09.1998

(51) Int. Cl. G06F 3/033
 G06F 3/14, G09G 5/00, G09G 5/34, H04N 5/262

(21) Application number: 09104169
 (22) Date of filing: 22.04.1997
 (30) Priority: 26.12.1996 JP 08347120

(71) Applicant: NIKON CORP
 (72) Inventor: EJIMA SATOSHI
 OMURA AKIRA

(54) INFORMATION PROCESSOR AND
 RECORDING MEDIUM

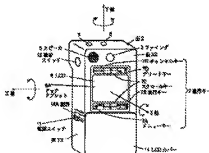
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily operate an image or a menu which are shown on the screen of a portable device by changing display content that is shown on a display means in accordance with the movement and rotation of the display means that is detected by a detecting means.

SOLUTION: For instance, when an electronic camera is swayed to the right, and when it is detected that an object image that is detected by a CCD moved to the left with pixels of the CCD moved to the left by sixty-four pixels that are 1/10 of the number of horizontal pixels, pixels on an LCD 6 are also scrolled to the left by twenty-eight pixels that are 1/10 of the number of horizontal pixels. Similarly, when the electronic camera is vertically shaken, a screen shown on the LCD 6 is vertically scrolled. Then, when the electronic cam-

era is shaken vertically or horizontally, monitoring a photographing image in the LCD 6 at the time of photographing, the photographing image is moved. Similarly to that, a reproduced image is scrolled as if a photographing image moves by vertically and horizontally shaking the electronic camera at the time of reproducing it.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-240436

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月11日

(51) Int.Cl. ⁴	識別記号	F I
G 0 6 F 3/033	3 1 0	G 0 6 F 3/033 3 1 0 Y
	3 6 0	3/14 3 6 0 A
G 0 9 G 5/00	5 5 0	G 0 9 G 5/00 5 5 0 C
	5/34	5/34 M
H 0 4 N 5/262		H 0 4 N 5/262
審査請求 実請求 請求項の数14 O L (全 28 頁)		

(21) 出願番号 特願平9-104169

(22) 出願日 平成9年(1997) 4月22日

(31) 優先権主張番号 特願平8-347120

(32) 優先日 平 8 (1996) 12月26日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000004112

株式会社ニコン

東京都千代田区丸の内3丁目2番3号

(72) 発明者 江島 聡

東京都千代田区丸の内3丁目2番3号 株

式会社ニコン内

(72) 発明者 大村 晃

東京都千代田区丸の内3丁目2番3号 株

式会社ニコン内

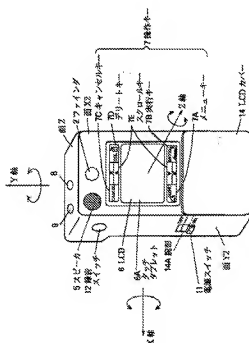
(74) 代理人 弁理士 橋本 義雄

(54) 【発明の名称】 情報処理装置および記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 携帯機器の操作性を向上させる。

【解決手段】 電子カメラ1は、所定の周期で画像を取り込み、取り込まれた画像の変位に基づいて、電子カメラ1がX軸およびY軸の回りに回転させられたことを検出し、それに応じて、LCD6の画面に表示している画像をスクロールさせたり、あるいは、LCD6の画面に表示しているカーソルを移動させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像、文字、および図形の少なくともいずれか一つを表示する表示手段と、

前記表示手段と一体的に設けられ、前記表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方を検出する検出手段と、

前記検出手段により検出された前記表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方に応じて、前記表示手段に表示する表示内容を変更する表示変更手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 前記検出手段は、所定の画像を撮像し、撮像した前記画像の時系列的な変化に基づいて、前記表示手段の移動および回転を検出することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】 前記検出手段は、CCDにより構成されることを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】 前記検出手段は、回転による角速度を検出し、

検出した前記角速度に基づいて、前記表示手段の回転を検出することを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】 前記検出手段は、2軸に関する角速度を検出することを特徴とする請求項4に記載の情報処理装置。

【請求項6】 前記検出手段は、圧電ジャイロにより構成されることを特徴とする請求項4または5に記載の情報処理装置。

【請求項7】 前記検出手段は、方位を検出し、検出した前記方位の時系列的な変化に基づいて、前記表示手段の回転を検出することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項8】 前記検出手段は、電子コンパスにより構成されることを特徴とする請求項7に記載の情報処理装置。

【請求項9】 所定の被写体の画像を撮像する撮像手段と、

前記撮像手段によって撮像された前記画像を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に前記被写体の画像を撮像させ、前記撮像手段が撮像した前記被写体の画像を前記記憶手段に記憶させるように制御する制御手段とをさらに備え、

前記表示変更手段は、前記制御手段が、前記撮像手段に前記被写体の画像を撮像させ、前記撮像手段が撮像した前記被写体の画像を前記記憶手段に記憶させる処理を行っていないとき、前記表示手段に表示する前記表示内容を変更することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項10】 前記表示制御手段は、前記検出手段が前記表示手段の前記検出手段の光軸方向への移動を検出したとき、前記表示手段に表示された表示内容を拡大

または縮小することを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項11】 前記検出手段により、前記表示手段の移動または回転の少なくともいずれか一方が検出された場合において、前記表示変更手段が前記表示手段に表示する表示内容を変更する処理を禁止する禁止手段をさらに備えることを特徴とする請求項1乃至10のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項12】 前記検出手段が、前記表示手段の画面に垂直な所定の直線の回りの回転を検出したとき、前記表示変更手段は、前記表示手段に表示された表示内容を所定の角度だけ回転させることを特徴とする請求項1乃至11のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項13】 前記検出手段が、前記表示手段の画面に平行な所定の直線の回りの回転を検出したとき、前記表示変更手段は、前記表示手段に表示された表示内容を所定の方向にスクロールさせることを特徴とする請求項1乃至11のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項14】 画像、文字、および図形の少なくともいずれか一つを表示する表示手段と、前記表示手段と一体的に設けられ、前記表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方を検出する検出手段と、前記表示手段の表示内容を変更する表示変更手段とを備える情報処理装置で使用される記録媒体であって、

前記検出手段により検出された前記表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方に応じて、前記表示変更手段に表示する表示内容を変更するよう前記表示変更手段を制御するプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報処理装置および記録媒体に関し、例えば、装置全体を移動または回転させることにより、装置の画面に表示した画像をスクロールさせたり、ズームングさせるようにした情報処理装置および記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、画面に表示した画像をスクロールさせたり、カーソルを移動させたりする場合、ジョイスティックやマウス等のポインティングデバイスを用いて行っている。ジョイスティックを任意の方向に動かすことにより、画像を任意の方向にスクロールさせることができる。また、画面に表示されたカーソルを任意の方向に移動させることができる。同様に、マウスを任意の方向に動かすことにより、画面に表示された画像を任意の方向に移動させることができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、携帯機器の画面に表示された画像をスクロールさせたり、メニ

ユー画面の中のカーソルを移動させるような場合、ジョイスティック等を操作機器に組み込むことが考えられるが、その場合、必ずしも使い勝手がよいとは言えない課題があった。

【0004】本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、操作機器の画面に表示された画像やメニュー画面を簡単に操作することができるようにするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の情報処理装置は、画像、文字、および図形の少なくともいずれか1つを表示する表示手段（例えば、図2のLCD6）と、表示手段と一体的に設けられ、表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方を検出する検出手段（例えば、図3のCCD20、図14の圧電ジャイロ61、図16の電子コンパス71）と、検出手段により検出された表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方に応じて、表示手段に表示する表示内容を変更する表示変更手段（例えば、図6のCPU39）とを備えることを特徴とする。

【0006】また、検出手段は、所定の画像を撮像し、撮像した画像の時系列的な変化に基づいて、表示手段の移動および回転を検出するようにすることができる。

【0007】また、検出手段は、CCDにより構成されるようにすることができる。

【0008】また、検出手段は、回転による角速度を検出し、検出した角速度に基づいて、表示手段の回転を検出するようにすることができる。

【0009】また、検出手段は、2軸に関する角速度を検出するようにすることができる。

【0010】また、検出手段は、圧電ジャイロにより構成されるようにすることができる。

【0011】検出手段は、方位を検出し、検出した方位の時系列的な変化に基づいて、表示手段の回転を検出するようにすることができる。

【0012】また、検出手段は、電子コンパスにより構成されるようにすることができる。

【0013】また、所定の被写体の画像を撮像する撮像手段（例えば、図4のCCD20）と、撮像手段によって撮像された画像を記憶する記憶手段（例えば、図4のメモリアカード24）と、撮像手段に被写体の画像を撮像させ、撮像手段が撮像した被写体の画像を記憶手段に記憶させるように制御する制御手段（例えば、図6のCPU39）とをさらに備え、表示変更手段は、制御手段が、撮像手段に被写体の画像を撮像させ、撮像手段が撮像した被写体の画像を記憶手段に記憶させる処理を行っていないとき、表示手段に表示する表示内容を変更するようにすることができる。

【0014】また、表示制御手段は、検出手段が表示手段の検出手段の光軸方向への移動を検出したとき、表示

手段に表示された表示内容を拡大または縮小するようにすることができる。

【0015】また、検出手段により、表示手段の移動または回転の少なくともいずれか一方が検出された場合において、表示変更手段が表示手段に表示する表示内容を変更する処理を禁止する禁止手段（例えば、図1のリリーススイッチ10、図2の録音スイッチ12）をさらに設けるようにすることができる。

【0016】また、検出手段が、表示手段の画面に垂直な所定の直線の回りの回転を検出したとき、表示変更手段は、表示手段に表示された表示内容を所定の角度だけ回転させるようにすることができる。

【0017】また、検出手段が、表示手段の画面に平行な所定の直線の回りの回転を検出したとき、表示変更手段は、表示手段に表示された表示内容を所定の方向にスクロールさせるようにすることができる。

【0018】請求項14に記載の記録媒体は、画像、文字、および図形の少なくともいずれか1つを表示する表示手段と、表示手段と一体的に設けられ、表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方を検出する検出手段と、表示手段の表示内容を変更する表示変更手段とを備える情報処理装置で使用される記録媒体であって、検出手段により検出された表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方に応じて、表示手段に表示する表示内容を変更するように表示変更手段を制御するプログラムを記録したことを特徴とする。

【0019】請求項1に記載の情報処理装置においては、表示手段が、画像、文字、および図形の少なくともいずれか1つを表示し、表示手段と一体的に設けられた検出手段が、表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方を検出し、表示変更手段が、検出手段により検出された表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方に応じて、表示手段に表示する表示内容を変更する。

【0020】請求項14に記載の記録媒体においては、検出手段により検出された表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方に応じて、表示手段に表示する表示内容を変更するように表示変更手段を制御するプログラムを記録した。

【0021】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

【0022】図1および図2は、本発明を適用した電子カメラの一実施の形態の構成例を示す斜視図である。本実施の形態の電子カメラにおいては、被写体を撮影する撮像部において、被写体に向けられる面が面X1とされ、ユーザ側に向けられる面が面X2とされている。面X1の上端部には、被写体の撮影範囲の確認に用いられるファインダ2、被写体の光面像を取り込む撮像レンズ3、および被写体を照明する光を発光する発光部（ストロ

部) 4 が設けられている。

【0023】さらに、面X1には、ストロボ4を発光させて撮影を行うときに、ストロボ4を発光させる前に発光させて赤目を軽減する赤目軽減LED15、CCD20(図4)の動作を停止させているときに測光を行う測光素子16、および、CCD20の動作を停止させているときに測色を行う測色素子17が設けられている。また、ズームスイッチ60が設けられ、入力された画像を光学的またはデジタル的にズームしたり、再生画像をデジタル的にズームすることができるようになされている。

【0024】一方、面X1に対向する面X2の上端部(面X1のファインダ2、撮影レンズ3、発光部4が形成されている上端部に対応する位置)には、上記ファインダ2、およびこの電子カメラ1に記録されている音声を取り出すスピーカ5が設けられている。また、面X2に形成されているLCD6および操作キー7は、ファインダ2、撮影レンズ3、発光部4およびスピーカ5よりも、鉛直下側に形成されている。LCD6の表面上には、後述するペン型指示装置の接触操作により、指示された位置に対応する位置データを出力する、いわゆるタッチタブレット6Aが配置されている。

【0025】このタッチタブレット6Aは、ガラス、樹脂等の透明な材料によって構成されており、ユーザは、タッチタブレット6Aの内側に形成されているLCD6に表示される画像を、タッチタブレット6Aを介して鑑賞することができる。

【0026】操作キー7は、LCD6に記録データを再生表示する場合などに操作されるキーであり、ユーザによる操作(入力)を検出し、CPU(central processing unit)39(図6)に供給するようになされている。

【0027】操作キー7のうちのメニューキー7Aは、LCD6上にメニュー画面を表示する場合に操作されるキーである。実行キー7Bは、ユーザによって選択された記録情報を再生する場合に操作されるキーである。

【0028】キャンセルキー7Cは、記録情報の再生処理を中断する場合に操作されるキーである。デリートキー7Dは、記録した情報を削除する場合に操作されるキーである。マクロールキー7Eは、LCD6に記録情報の一覧が表示されている場合において、画面を上下方向にスクロールさせるときに操作されるキーである。

【0029】面X2には、LCD6を使用していないときに保護する、摺動自在なLCDカバー14が設けられている。LCDカバー14は、鉛直上方向に移動させた場合、図3に示すように、LCD6およびタッチタブレット6Aを覆うようになされている。また、LCDカバー14を鉛直下方向に移動した場合、LCD6およびタッチタブレット6Aが現れるとともに、LCDカバー14の腕部14Aによって、面Y2に配置された電源スイ

ッチ11(後述)がオン状態に切り換えられるようになされている。

【0030】この電子カメラ1の上面である面2には、音声を取り出すマイクホーン8、および指示せぬイヤホンが接続されるイヤホンジャック9が設けられている。

【0031】左側面(面Y1)には、被写体を撮像するときに操作されるレリーズスイッチ10と、撮影時の連写モードを切り換えるときに操作される連写モード切り換えスイッチ13が設けられている。このレリーズスイッチ10および連写モード切り換えスイッチ13は、面X1の上端部に設けられているファインダ2、撮影レンズ3および発光部4よりも鉛直下側に配置されている。

【0032】一方、面Y1に対向する面Y2(右側面)には、音声を録音するときに操作される録音スイッチ12と、電源スイッチ11が設けられている。この録音スイッチ12および電源スイッチ11は、上記レリーズスイッチ10および連写モード切り換えスイッチ13と同様に、面X1の上端部に設けられているファインダ2、撮影レンズ3および発光部4よりも鉛直下側に配置されている。また、録音スイッチ12は、面Y1のレリーズスイッチ10とはほぼ同じ高さで形成されており、左右どちらの手で持っても、違和感のないように構成されている。

【0033】なお、録音スイッチ12とレリーズスイッチ10の高さを、あえて異ならせることにより、一方のスイッチを押す場合に、この押圧力によるメモメントを打ち消すために反対側の側面を指で保持したとき、誤ってこの反対側の側面に設けられたスイッチが押されてしまわないようにしてもよい。

【0034】上記連写モード切り換えスイッチ13は、ユーザがレリーズスイッチ10を押して被写体を撮影するとき、被写体を1コマだけ撮影するのか、または、所定の複数コマ撮影するのかを設定する場合に用いられる。例えば、連写モード切り換えスイッチ13の指針が「S」と印刷された位置に切り換えられている(すなわち、Sモードに切り換えられている)場合において、レリーズスイッチ10が押されると、1コマだけ撮影が行われるようになされている。

【0035】また、連写モード切り換えスイッチ13の指針が「L」と印刷された位置に切り換えられている(すなわち、Lモードに切り換えられている)場合において、レリーズスイッチ10が押されると、レリーズスイッチ10の押されている期間中、1秒間に3コマの撮影が行われるようになされている(すなわち、低速連写モードになる)。

【0036】さらに、連写モード切り換えスイッチ13の指針が「H」と印刷された位置に切り換えられている(すなわち、Hモードに切り換えられている)場合において、レリーズスイッチ10が押されると、レリーズスイッチ10の押されている期間中、1秒間に30コマの

撮影が行われるようになされている（すなわち、高速連写モードになる）。

【0037】次に、電子カメラ1の内部の構成について説明する。図4は、図1および図2に示す電子カメラの内部の構成例を示す斜視図である。CCD20は、撮影レンズ3の後設（面X2側）に設けられており、撮影レンズ3を介して結像する被写体の光画像を電気信号に光電変換するようになされている。

【0038】ファインダ内表示部26は、ファインダ2の視野内に配置され、ファインダ2を介して被写体を視しているユーザに対して、各種機能の設定状態などを表示するようになされている。

【0039】LCD6の鉛直下側には、円柱形状の4本のバッテリー（単3の乾電池）21が縦に並べられており、このバッテリー21に蓄積されている電力が各部に供給されるようになされている。さらに、LCD6の鉛直下側には、バッテリー21とともに、発光部4に光を発光させるための電荷を蓄積するコンデンサ22が配線されている。

【0040】回路基板23には、この電子カメラ1の各部を制御する、種々の制御回路が形成されている。また、回路基板23と、LCD6およびバッテリー21の間には、揮発可能なメモリカード24が設けられており、この電子カメラ1に入力される各種の情報、それぞれ、メモリカード24の予め設定されている領域に記録されるようになされている。

【0041】さらに、電源スイッチ11に隣接して配置されているLCDスイッチ25は、その突起部が押圧されている間のみオン状態となるスイッチであり、LCDカバー14が鉛直下方向に移動した場合、図5(a)に示すように、LCDカバー14の突起部14Aによって、電源スイッチ11とともにオン状態に切り換えられるようになされている。

【0042】なお、LCDカバー14が鉛直上方向に位置する場合、電源スイッチ11は、LCDスイッチ25とは独立に、ユーザによって操作される。例えば、LCDカバー14が閉じられ、電子カメラ1が使用されていない場合、図5(b)に示すように、電源スイッチ11およびLCDスイッチ25がオフ状態になっている。この状態において、ユーザが電源スイッチ11を図5(c)に示すように、オン状態に切り換えると、電源スイッチ11はオン状態となるが、LCDスイッチ25は、オフ状態のままである。一方、図5(b)に示すように、電源スイッチ11およびLCDスイッチ25がオフ状態になっているとき、LCDカバー14が開かれると、図5(a)に示すように、電源スイッチ11およびLCDスイッチ25がオン状態となる。そして、この後、LCDカバー14を閉じると、LCDスイッチ25だけが、図5(c)に示すように、オフ状態となる。

【0043】なお、本実施の形態においては、メモリカード24は揮発可能とされているが、回路基板23上にメモリを設け、そのメモリに各種情報を記録可能とするようにしてもよい。また、メモリ（メモリカード24）に記録されている各種情報を、図示せぬインタフェースを介して外部のパーソナルコンピュータ等に出力することができるようにしてもよい。

【0044】次に、本実施の形態の電子カメラ1の内部の電気的構成例を、図6のブロック図を参照して説明する。複数の画素を備えているCCD20は、各画素に結像した光画像を画像信号（電気信号）に光電変換するようになされている。デジタルシフトレジスタ（以下、DSPという）33は、CCD20にCCD水平駆動パルスを提供するとともに、CCD駆動回路34を制御し、CCD20にCCD垂直駆動パルスを提供させるようになされている。

【0045】画像処理部31は、CPU39に制御され、CCD20が光電変換した画像信号を所定のタイミングでサンプリングし、そのサンプリングした信号を、所定のレベルに増幅するようになされている。CPU39は、ROM（read only memory）43に記憶されている制御プログラムに従って、各部を制御するようになされている。アナログ/デジタル変換回路（以下、A/D変換回路という）32は、画像処理部31でサンプリングした画像信号をデジタル化してDSP33に供給するようになされている。

【0046】DSP33は、バッファメモリ36およびメモリカード24に接続されるデータバスを制御し、A/D変換回路32より供給された画像データをバッファメモリ36に一旦記憶させた後、バッファメモリ36に記憶した画像データを読み出し、その画像データを、メモリカード24に記録するようになされている。

【0047】また、DSP33は、A/D変換回路32より供給された画像データをフレームメモリ35に記憶させ、LCD6に表示させるとともに、メモリカード24から撮影画像データを読み出し、その撮影画像データを伸張した後、伸張後の画像データをフレームメモリ35に記憶させ、LCD6に表示させるようになされている。

【0048】さらに、DSP33は、電子カメラ1の起動時において、CCD20の露光レベルが適正な値になるまで、露光時間（露出値）を調節しながら、CCD20を繰り返し動作させるようになされている。このとき、DSP33が、最初に、測光回路51を動作させ、測光素子16により検出された受光レベルに対応して、CCD20の露光時間の初期値を算出するようにしてもよい。このようにすることにより、CCD20の露光時間の調節を短時間で行うことができる。

【0049】この他、DSP33は、メモリカード24への記録、伸張後の画像データのバッファメモリ36への記憶などにおけるデータ入出力のタイミング管理を行

うようになされている。

【0050】バッファメモリ36は、メモリカード24に対するデータの出入力の速度と、CPU39やDSP33などにおける処理速度の違いを緩和するために利用される。

【0051】マイクロホン8は、音声情報を入力し（音声を集音し）、その音声情報をA/DおよびD/A変換回路42に供給するようになされている。

【0052】A/DおよびD/A変換回路42は、マイクロホン8により検出された音声に対応するアナログ信号をデジタル信号に変換した後、そのデジタル信号をCPU39に供給するとともに、CPU39より供給された音声データをアナログ化し、アナログ化された音声信号をスピーカ5に出力するようになされている。

【0053】測光素子16は、被写体およびその周囲の光量を測定し、その測定結果を測光回路51に出力するようになされている。測光回路51は、測光素子16より供給された測光結果であるアナログ信号に対して所定の処理を施した後、デジタル信号に変換し、そのデジタル信号をCPU39に出力するようになされている。

【0054】測色素子17は、被写体およびその周囲の色温度を測定し、その測定結果を測色回路52に出力するようになされている。測色回路52は、測色素子17より供給された測色結果であるアナログ信号に対して所定の処理を施した後、デジタル信号に変換し、そのデジタル信号をCPU39に出力するようになされている。

【0055】タイマ45は、時計回路を内蔵し、現在の時刻に対応するデータをCPU39に出力するようになされている。

【0056】絞り駆動回路53は、絞り54の開口径を所定の値に設定するようになされている。絞り54は、撮影レンズ3とCCD20の間に設置され、撮影レンズ3からCCD20に入射する光の開口径を変更するようになされている。

【0057】CPU39は、LCDスイッチ25からの信号に応じて、LCDカバー14が閉じているときにおいては、測光回路51および測色回路52の動作を停止させ、LCDカバー14が閉じているときにおいては、測光回路51および測色回路52を動作させるとともに、レーザースイッチ10が半押し状態になるまで、CCD20の動作（例えば電子シャッター動作）を停止させるようになされている。

【0058】CPU39は、CCD20の動作を停止させているとき、測光回路51および測色回路52を制御し、測光素子16の測光結果を受け取るとともに、測色素子17の測色結果を受け取るようになされている。

【0059】そして、CPU39は、所定のテーブルを参照して、測色回路52より供給された色温度に対応するホワイトバランス調整値を算出し、そのホワイトバランス調整値を画像処理部31に供給するようになされて

いる。

【0060】即ち、LCDカバー14が閉じているときにおいては、LCD6が電子ビューファインダとして使用されないで、CCD20の動作を停止させるようにする。CCD20は多くの電力を消費するので、このようにCCD20の動作を停止させることにより、バッテリー21の電力を節約することができる。

【0061】また、CPU39は、LCDカバー14が閉じているとき、レーザースイッチ10が操作されるまで（レーザースイッチ10が半押し状態になるまで）、画像処理部31が各種処理を行わないように、画像処理部31を制御するようになされている。

【0062】さらに、CPU39は、LCDカバー14が閉じているとき、レーザースイッチ10が操作されるまで（レーザースイッチ10が半押し状態になるまで）、絞り駆動回路53が絞り54の開口径を変更などの動作を行わないように、絞り駆動回路53を制御するようになされている。

【0063】また、CPU39は、ストロボ駆動回路37を制御して、ストロボ4を適宜発光させるようになされている他、赤目軽減LED駆動回路38を制御して、ストロボ4を発光させる前に、赤目軽減LED15を適宜発光させるようになされている。

【0064】なお、CPU39は、LCDカバー14が開いているとき（即ち、電子ビューファインダが利用されているとき）においては、ストロボ4を発光させないようにすることができ、このようにすることにより、電子ビューファインダに表示されている画像の状態で、被写体を撮影することができ、

【0065】CPU39は、タイマ45より供給される日時データに従って、撮影した日時の情報を画像データのヘッダ情報として、メモリカード24の撮影画像記録領域に記録するようになされている。（すなわち、メモリカード24の撮影画像記録領域に記録される撮影画像データには、撮影日時の日時データが付随している。）

【0066】また、CPU39は、デジタル化された音声情報を圧縮した後、デジタル化および圧縮化された音声データを一旦、バッファメモリ36に記憶させた後、メモリカード24の所定の領域（音声記録領域）に記録するようになされている。また、このとき、メモリカード24の音声記録領域には、録音日時の日時データが音声データのヘッダ情報として記録されるようになされている。

【0067】CPU39は、レンズ駆動回路30を制御し、撮影レンズ3を移動させることにより、オートフォーカス動作を行う他、絞り駆動回路53を制御して、撮影レンズ3とCCD20の間に設置されている絞り54の開口径を変更するようになされている。

【0068】さらに、CPU39は、ファインダ内表示回路40を制御して、各種動作における設定などをフ

インダ内表示素子26に表示させるようになされている。

【0069】CPU39は、インタフェース1/F48を介して、所定の外部装置（図示せず）と所定のデータの授受を行うようになされている。

【0070】また、CPU39は、操作キー7からの信号を受け取り、適宜処理するようになされている。

【0071】ユーザの操作するペン（ペン型指示部材）41によってタッチタブレット6Aの所定の位置が押圧されると、CPU39は、タッチタブレット6Aの押圧された位置のX-Y座標を読み取り、その座標データ（後述するメモ情報）を、バッファメモリ36に蓄積させるようになされている。また、CPU39は、バッファメモリ36に蓄積したメモ情報を、メモ情報入力日時

のヘッド情報とともに、メモカード24のメモ情報記録領域に記録するようになされている。

【0072】次に、本装置の形態の電子カメラ1の各種動作について説明する。最初に、本装置のLCD6における電子ビューファインダ動作について説明する。

【0073】ユーザがリリーススイッチ10を半押し状態になると、DSP33は、CPU39より供給される、LCDスイッチ25の状態に対応する信号の値から、LCDカバー14が閉じているかどうかを判断し、LCDカバー14が閉じていると判断した場合、電子ビューファインダ動作を行わない。この場合、DSP33は、リリーススイッチ10が操作されるまで、処理を停止する。

【0074】なお、LCDカバー14が閉じている場合、電子ビューファインダ動作を行わないので、CPU39は、CCD20、画像処理部31、および、絞り駆動回路53の動作を停止させる。そして、CPU39は、CCD20を停止させる代わりに、測光回路51および測色回路52を動作させ、それらの測定結果を、画像処理部31に供給する。画像処理部31は、それらの測定結果の値を、ホワイトバランス制御および輝度値の制御を行うときに利用する。

【0075】また、リリーススイッチ10が操作された場合、CPU39は、CCD20および絞り駆動回路53の動作を行わせる。

【0076】一方、LCDカバー14が開いている場合、CCD20は、所定の時間毎に、所定の露光時間、電子シャッター動作を行い、撮影レンズによって集光された被写体の光画像を光電変換し、その動作で得られた画像信号を画像処理部31に出力する。

【0077】画像処理部31は、ホワイトバランス制御および輝度値の制御を行い、その画像信号に対して所定の処理を施した後、画像信号をA/D変換回路32に出力する。なお、CCD20が動作しているときは、画像処理部31は、CPU39により、CCD20の出力を利用して導出された、ホワイトバランス制御および輝度

値の制御に利用される調整値を利用する。

【0078】そして、A/D変換回路32は、その画像信号（アナログ信号）を、デジタル信号である画像データに変換し、その画像データをDSP33に出力する。

【0079】DSP33は、その画像データをフレームメモリ35に出力し、LCD6にその画像データに対応する画像を表示させる。

【0080】このように、電子カメラ1においては、LCDカバー14が閉じている場合、所定の時間間隔で、CCD20が電子シャッター動作し、その度に、CCD20から出力された信号を画像データに変換し、その画像データをフレームメモリ35に出力して、LCD6に被写体の画像を絶えず表示させることで、電子ビューファインダ動作を行う。

【0081】また、上述のように、LCDカバー14が開いている場合においては、電子ビューファインダ動作を行わず、CCD20、画像処理部31、および、絞り駆動回路53の動作を停止させ、消費電力を節約している。

【0082】次に、本装置による被写体の撮影について説明する。

【0083】第1に、面Y1に設けられている連写モード切り換えスイッチ13が、Sモード（1コマだけ撮影を行うモード）に切り換えられている場合について説明する。最初に、図1に示す電源スイッチ11を「ON」と印刷されている側に切り換えて電子カメラ1に電源を投入する。ファインダ2で被写体を確認し、面Y1に設けられているリリーススイッチ10を押すと、被写体の撮影処理が開始される。

【0084】なお、LCDカバー14が閉じられている場合、CPU39は、リリーススイッチ10が半押し状態になったとき、CCD20、画像処理部31、および、絞り駆動回路53の動作を再開させて、リリーススイッチ10が全押し状態になったとき、被写体の撮影処理を開始させる。

【0085】ファインダ2で観察される被写体の光画像が撮影レンズ3によって集光され、複数の画像を備えるCCD20に結像する。CCD20に結像した被写体の光画像は、各画素で画像信号に光電変換され、画像処理部31によってサンプリングされる。画像処理部31によってサンプリングされた画像信号は、A/D変換回路32に供給され、そこでデジタル化されてDSP33に出力される。

【0086】DSP33は、その画像データをバッファメモリ36に一旦出力した後、バッファメモリ36より、その画像データを読み出し、画数対応のカラー変換、量子化およびハフマン符号化を組み合わせたJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式に従って圧縮し、メモカード24の撮影画像記録領域に記録させる。このとき、メモカード24の撮影画像記録領域に

は、撮影日時データのデータが、撮影画像データのヘッダ情報として記録される。

【0087】なお、連写モード切り換えスイッチ13がSモードに切り換えられている場合においては、1コマの撮影だけが行われ、レリーズスイッチ10が継続して押されても、それ以降の撮影は行われない。また、レリーズスイッチ10が継続して押されると、LCDカバー14が開いている場合、LCD6に、撮影した画像が表示される。

【0088】第2に、連写モード切り換えスイッチ13がLモード(1秒間に8コマの連写を行うモード)に切り換えられている場合について説明する。電源スイッチ11を「ON」と印刷されている側に切り換えて電子カメラ1に電源を投入し、面Y1に設けられているレリーズスイッチ10を押すと、被写体の撮影処理が開始される。

【0089】なお、LCDカバー14が閉じられている場合、CPU39は、レリーズスイッチ10が半押し状態になったとき、CCD20、画像処理部31、および、絞り駆動回路53の動作を再開させて、レリーズ

スイッチ10が全押し状態になったとき、被写体の撮影処理を開始させる。

【0090】ファインダ2で観察される被写体の光画像は、撮影レンズ3によって集光され、被写体の画像を撮えるCCD20に結像する。CCD20に結像した被写体の光画像は、各画素で画像信号に光電変換され、画像処理部31によって1秒間に8回の割合でサンプリングされる。また、このとき、画像処理部31は、CCD20の全画素の画像電気信号のうち4分の3の画素を関引く。

【0091】すなわち、画像処理部31は、マトリクス状に配列されているCCD20の画素を、図7に示すように、2×2画素(4つの画素)を1つとする領域に分割し、その1つの領域から、所定の位置に配列されている1画素の画像信号をサンプリングし、残りの3画素を関引く。

【0092】例えば、第1回目のサンプリング時(1コマ目)においては、各領域の左上の画素aがサンプリングされ、その他の画素b、c、dが関引かれる。第2回目のサンプリング時(2コマ目)においては、各領域の右上の画素bがサンプリングされ、その他の画素a、c、dが関引かれる。以下、第3回目、第4回目のサンプリング時においては、左下の画素c、右下の画素dが、それぞれ、サンプリングされ、その他の画素が関引かれる。つまり、4コマ毎に各画素がサンプリングされる。

【0093】画像処理部31によってサンプリングされた画像信号(CCD20の全画素中の4分の1の画素の画像信号)は、A/D変換回路32に供給され、そこでデジタル化されてDSP33に出力される。

【0094】DSP33は、デジタル化された画像信号をバッファメモリ36に一時的に出力した後、その画像信号を読み出し、JPEG方式に従って圧縮した後、デジタル化および圧縮処理された撮影画像データを、メモ리카ード24の撮影画像記録領域に記録する。このとき、メモ리카ード24の撮影画像記録領域には、撮影日時のデータが、撮影画像データのヘッダ情報として記録される。

【0095】第3に、連写モード切り換えスイッチ13がHモード(1秒間に30コマの連写を行うモード)に切り換えられている場合について説明する。電源スイッチ11を「ON」と印刷されている側に切り換えて電子カメラ1に電源を投入し、面Y1に設けられているレリーズスイッチ10を押すと、被写体の撮影処理が開始される。

【0096】なお、LCDカバー14が閉じられている場合、CPU39は、レリーズスイッチ10が半押し状態になったとき、CCD20、画像処理部31、および、絞り駆動回路53の動作を再開させて、レリーズスイッチ10が全押し状態になったとき、被写体の撮影処理を開始させる。

【0097】ファインダ2で観察される被写体の光画像が撮影レンズ3によって集光され、CCD20に結像する。被写体の画像を撮えるCCD20に結像した被写体の光画像は、各画素で画像信号に光電変換され、画像処理部31によって1秒間に30回の割合でサンプリングされる。また、このとき、画像処理部31は、CCD20の全画素の画像電気信号のうち9分の8の画素を関引く。

【0098】すなわち、画像処理部31は、マトリクス状に配列されているCCD20の画素を、図8に示すように、3×3画素を1つとする領域に分割し、その1つの領域から、所定の位置に配列されている1画素の画像電気信号を、1秒間に30回の割合でサンプリングし、残りの8画素を関引く。

【0099】例えば、第1回目のサンプリング時(1コマ目)においては、各領域の左上の画素aがサンプリングされ、その他の画素b乃至iが関引かれる。第2回目のサンプリング時(2コマ目)においては、画素aの右側に配置されている画素bがサンプリングされ、その他の画素a、c乃至iが関引かれる。以下、第3回目以降のサンプリング時においては、画素c、画素d・・・が、それぞれ、サンプリングされ、その他の画素が関引かれる。つまり、9コマ毎に各画素がサンプリングされる。

【0100】画像処理部31によってサンプリングされた画像信号(CCD20の全画素中の9分の1の画素の画像信号)は、A/D変換回路32に供給され、そこでデジタル化されてDSP33に出力される。

【0101】DSP33は、デジタル化された画像信号

をバッファメモリ36に一旦出力した後、その画像信号を読み出し、JPEG方式に従って圧縮した後、デジタル化および圧縮処理された撮影画像データを、撮影日時のヘッダ情報と共に、メモ리카ード24の撮影画像記録領域に記録する。

【0102】なお、必要に応じて、ストロボ4を動作させ、被写体に光を照射させることもできる。ただし、LCDカバー14が開いているとき、即ち、LCD6が電子ビューファインダ動作を行っているとき、CPU39は、ストロボ4を、発光させないように制御することができ。

【0103】次に、タッチタブレット6Aから2次元の情報（ペン入力情報）を入力する場合の動作について説明する。

【0104】タッチタブレット6Aがペン41のペン先で押圧されると、接触した箇所のX-Y座標が、CPU39に入力される。このX-Y座標は、バッファメモリ36に記憶される。また、フレームメモリ35における上記X-Y座標の各点に対応した箇所データを書き込み、LCD6における上記X-Y座標に、ペン41の接

触に対応したメモを表示させることができる。

【0105】上述したように、タッチタブレット6Aは、透明部材によって構成されているので、ユーザは、LCD6上に表示される点（ペン41のペン先で押圧された位置の点）を観察することができ、あたかもLCD6上に直接ペン入力をしたかのように感じることができ。また、ペン41をタッチタブレット6A上で移動させると、LCD6上には、ペン41の移動に伴う線が表示される。さらに、ペン41をタッチタブレット6A上で断続的に移動させると、LCD6上には、ペン41の移動に伴う破線が表示される。以上のようにして、ユーザは、タッチタブレット6A（LCD6）に所望の文字、図形等のメモ情報を入力する。

【0106】また、LCD6上に撮影画像が表示されている場合において、ペン41によってメモ情報が入力されると、このメモ情報は、撮影画像情報とともに、フレームメモリ35で合成され、LCD6上に同時に表示される。

【0107】なお、ユーザは、所定のパレット100を操作することにより、LCD6上に表示されるメモの色を、黒、白、赤、青等の色から選択することができる。

【0108】ペン41によるタッチタブレット6Aへのメモ情報の入力後、操作キー7の実行キー7Bが押されると、バッファメモリ36に蓄積されているメモ情報は、入力日時のヘッダ情報とともにメモ리카ード24に供給され、メモ리카ード24のメモ情報記録領域に記録される。

【0109】なお、メモ리카ード24に記録されるメモ情報は、圧縮処理の施された情報である。タッチタブレット6Aに入力されたメモ情報は空間周波数成分の高い

情報を多く含んでいるので、上記撮影画像の圧縮に用いられるJPEG方式によって圧縮処理を行うと、圧縮効率が悪く情報量が小さくならず、圧縮および伸張に必要とされる時間が長くなってしまふ。さらに、JPEG方式による圧縮は、非可逆圧縮であるので、情報量の少ないメモ情報の圧縮には適していない（伸張してLCD6上に表示した場合、情報の欠落に伴うギザ、にじみが残ってしまうため）。

【0110】そこで、本実施の形態においては、フック等において用いられるランレングス法によって、メモ情報を圧縮するようにしている。ランレングス法とは、メモ画面を水平方向に走査し、黒、白、赤、青等の各色の情報（点）の連続する長さ、および無情報（ペン入力のない部分）の連続する長さを符号化することにより、メモ情報を圧縮する方法である。

【0111】このランレングス法を用いることにより、メモ情報を最小に圧縮することができ、また、圧縮されたメモ情報を伸張した場合においても、情報の欠落を抑えることが可能になる。なお、メモ情報は、その情報量が比較的少ない場合には、圧縮しないようにすることもできる。

【0112】また、上述したように、LCD6上に撮影画像が表示されている場合において、ペン入力を行うと、撮影画像データとペン入力のメモ情報がフレームメモリ35で合成され、撮影画像とメモの合成画像がLCD6上に表示される。その一方で、メモ리카ード24においては、撮影画像データは、撮影画像記録領域に記録され、メモ情報は、メモ情報記録領域に記録される。のように、2つの情報が、各々異なる領域に記録されるので、ユーザは、撮影画像とメモの合成画像から、いずれか一方の画像（例えばメモ）を削除することができ、さらに、各々の画像情報を個別の圧縮方法で圧縮することもできる。

【0113】メモ리카ード24の音声記録領域、撮影画像記録領域、またはメモ情報記録領域にデータを記録した場合、図9に示すように、LCD6にその一覧表を表示させることができる。

【0114】図9に示すLCD6の表示画面上においては、情報を記録した時点の年月日（記録年月日）（この場合、1996年11月1日）が画面の上端部に表示され、その記録年月日に記録された情報の番号と記録時刻が画面の左側に表示されている。

【0115】記録時刻の右側には、サムネイル画像が表示されている。このサムネイル画像は、メモ리카ード24に記録された撮影画像データの各画像データのビットマップデータを簡易して（縮小して）作成されたものである。この表示のある情報は、撮影画像情報を含む情報である。つまり、「10時16分」、および「10時21分」に記録（入力）された情報には、撮影画像情報が含まれており、それ以外の時間に記録された情報には画

像情報が含まれていない。

【0116】また、メモアイコン「□」は、録画情報として所定のメモが記録されていることを表している。

【0117】サムネイル画像の表示領域の右側には、音声アイコン（音符）が表示され、その右側には録音時間（単位は秒）が表示されている（音声情報が入力されていない場合は、これは表示されない）。

【0118】ユーザは、図9に示すように、LCD6に表示された一覧表の中の所望の音声アイコンを、ペン41のペン先で押圧して再生する情報を選択指示し、図2に示す実行キー7Bをペン41のペン先で押圧することにより、選択した情報を再生する。

【0119】例えば、図9に示す「10時16分」の表示されている音声アイコンがペン41によって押圧されると、CPU39は、選択された録音日時（10時16分）に対応する音声データをメモカード24から読み出し、その音声データを伸張した後、A/DおよびD/A変換回路42に供給する。A/DおよびD/A変換回路42は、供給された音声データをアナログ化した後、スピーカ5を介して再生する。

【0120】メモカード24に記録した撮影画像データを再生する場合、ユーザは、所望のサムネイル画像を、ペン41のペン先で押圧することによりその情報を選択し、実行キー7Bを押して選択した情報を再生させる。

【0121】即ち、CPU39は、選択されたサムネイル画像の撮影日時に対応する撮影画像データをメモカード24から読み出すように、DSP33に指示する。DSP33は、メモカード24より読み出した上記撮影画像データ（圧縮されている撮影画像データ）を伸張し、この撮影画像データをビットマップデータとしてフレームメモリ35に蓄積させ、LCD6に表示させる。

【0122】Sモードで撮影された画像は、LCD6上に、静止画像として表示される。この静止画像は、CCD20の全ての画素の画像信号を再生したものであるというまでもない。

【0123】Lモードで撮影された画像は、LCD6上において、1秒間に8コマの割合で連続して表示される。このとき、各コマに表示される画素数は、CCD20の全画素数の4分の1である。

【0124】通常、人間の目は、静止画像の解像度の劣化に対しては敏感に反応するため、静止画像の画素を間引くことは、ユーザに画質の劣化として捉えられてしまう。しかしながら、撮影時の連写速度が上がり、Lモードにおいて1秒間に8コマ撮影された、この画像が1秒間に8コマの速さで再生された場合においては、各コマの画素数がCCD20の画素数の4分の1になるが、人間の目は1秒間に8コマの画像を観察するので、1秒間に人間の目に入る情報量は、静止画像の場合に比べて2倍になる。

【0125】すなわち、Sモードで撮影された画像の1コマの画素数は1とすると、Lモードで撮影された画像の1コマの画素数は1/4となる。Sモードで撮影された画像（静止画像）がLCD6に表示された場合、1秒間に人間の目に入る情報量は1（＝（画素数1）×（コマ数1））となる。一方、Lモードで撮影された画像がLCD6に表示された場合、1秒間に人間目に入る情報量は2（＝（画素数1/4）×（コマ数8））となる（すなわち、人間の目には、静止画像の2倍の情報が入る）。従って、1コマ中の画素の数を4分の1にしても、再生時において、ユーザは、画質の劣化をさほど気にすることなく再生画像を観察することができる。

【0126】さらに、本実施の形態においては、各コマ毎に異なる画素をサンプリングし、そのサンプリングした画素をLCD6に表示するようにしているため、人間の目に残像効果が起こり、1コマ当たり4分の3画素を間引いたとしても、ユーザは、画質の劣化をさほど気にすることなくLCD6に表示されるLモードで撮影された画像を観察することができる。

【0127】また、Hモードで撮影された画像は、LCD6上において、1秒間に30コマの割合で連続して表示される。このとき、各コマに表示される画素数は、CCD20の全画素数の9分の1であるが、Lモードの場合と同様の理由で、ユーザは、画質の劣化をさほど気にすることなくLCD6に表示されるHモードで撮影された画像を観察することができる。

【0128】本実施の形態においては、LモードおよびHモードで被写体を撮像する場合、画像処理部31が、再生時における画質の劣化が気にならない程度にCCD20の画素を間引くようにしているため、DSP33の負荷を低減することができ、DSP33を、低速度、低電力で動作させることができる。また、このことにより、装置の低コスト化および低消費電力化が可能になる。

【0129】ところで、本実施の形態においては、既述のように、被写体の光画像を撮影するだけでなく、メモ（録画）情報を記録することも可能である。本実施の形態においては、これらの情報を入力するモード（撮影モードおよびメモ入力モード）を見出し、ユーザの操作に応じてこれらのモードが適宜選択され、情報の入力がスムーズに実行されるようになされている。

【0130】次に、電子カメラ1を手で持って、電子カメラ1を移動させたり回転させたりすることによって、電子カメラ1の画面に表示された画像をスクロールさせたり、カーソルを移動させる方法について説明する。

【0131】ここで、電子カメラ1を回転させる回転軸を図10に示すように定義する。すなわち、電子カメラ1の中心から面Zの中心を通る直線をY軸とし、電子カメラ1の中心から面Y2の中心を通る直線をX軸とする。そして、ユーザは、電子カメラ1をこの2軸の回り

に画動させるものとする。

【0132】図11は、図9のCCD20によって撮像された画像に基づいて、電子カメラ1の移動および画動を検出する場合の処理手順を示すフローチャートである。最初に、ステップS1において、CCD20による画像の取り込みを行う。すなわち、CPU39は、画像処理部31を制御し、CCD20が光電変換した画像信号を所定のタイミングでサンプリングする。サンプリングされた画像信号は、A/D変換回路32においてディジタルの画像データに変換され、DSP33により一旦バッファメモリ36に供給される。そして、DSP33によりバッファメモリ36に記憶された画像データが読み出され、圧縮処理が施された後、メモカード24に供給され、記憶される。

【0133】次に、ステップS2に進み、CPU39により、ステップS1において取り込まれた画像のコントラストが十分であるか否かが判定される。すなわち、取り込まれた画像の中から、コントラストが最も高い部分を抽出することができるか否かが判定される。例えば、背景が真っ暗な場合、コントラストのある画像を取り出すことはできない。取り込んだ画像のコントラストの最も高い部分を抽出することができると判定された場合、ステップS5に進む。

【0134】一方、コントラストの最も高い部分を抽出することができないと判定された場合、ステップS3に進み、CPU39は赤目軽減LED駆動回路38を制御し、赤目軽減LED15を点灯させる。これにより、電子カメラ1の面X1側にある物体に対して光が照射される。次に、ステップS4において、再度、上述した場合と同様にして、CPU39の制御により、CCD20による画像の取り込みが行われる。このとき、赤目軽減LED15が点灯しているため、取り込まれた画像にはコントラストがあり、コントラストの最も高い部分を抽出することができる。CCD20による画像の取り込みが終了すると、CPU39は、赤目軽減LED駆動回路38を制御し、赤目軽減LED15を消灯させる。

【0135】ステップS5においては、CPU39により、メモカード24に取り込まれた画像の中のコントラストの最も高い部分が抽出され、ステップS6において、その部分の画面上での座標値 P_1 (P_x , P_y)が、例えばバッファメモリ36に記憶される。

【0136】次に、ステップS7において、前回記憶しておいた最もコントラストの高い部分の座標値 P_0 があるか否かが判定される。前回記憶しておいた座標値 P_0 がないと判定された場合、ステップS1に戻り、ステップS1以降の処理が再度実行される。ステップS1乃至S7が実行される周期は、例えば、画像を取り込む周波数に合わせて30ヘルツ(Hz)とすることができ、従って、赤目軽減LED15は30ヘルツ(Hz)の周期で間欠的に点滅することになる。

【0137】また、背景が真っ暗な場合、赤目軽減LED15の代わりに、他の指示用照明装置を用いて背景に照明光をあて、CCD20によるコントラストのある画像の取り込みを可能にするようにすることもできる。

【0138】一方、前回記憶しておいた座標値 P_0 があるかと判定された場合、ステップS8に進み、前回記憶しておいた座標値 P_0 と、いま検出した座標値 P_1 との差 ΔP (ΔP_x , ΔP_y)を求める。

【0139】次に、ステップS9に進み、差 ΔP (ΔP_x , ΔP_y)に対応する所定方向に、所定の画素数だけ、画面上に表示された再生画像をスクロールさせる。

【0140】例えば、CCD20の水平方向の画素数が640、LCD6の水平方向の画素数が280であり、CCD20によって撮影可能な撮影範囲を全てLCD6に表示することができると仮定されているものとする。そして、例えば、電子カメラ1が右に振られ、CCD20によって検出された被写体像が、左にCCD20の画素にして水平方向の画素数の1/10である64画素分だけ移動したことが検出された場合、LCD6上の画像も水平方向の画素数の1/10である28画素分だけ左にスクロールさせる。また、縦方向(上下方向)に電子カメラ1を振った場合には、電子カメラ1を横方向に振った場合と基本的に同様にして、LCD6に表示された画面上を上下方向にスクロールさせる。

【0141】このことにより、撮影時にLCD6により撮影画をモニタしながら、電子カメラ1を上下左右に振った場合に撮影画が移動することと同様に、再生時に電子カメラ1を上下左右に振ることにより、あたかも、撮影画が移動しているかのような感覚で、再生画をスクロールするようにすることができる。むしろ、この設定をデフォルトとした上で、CCD20によって撮像された画像の移動量と、LCD6に表示された画像のスクロール量との関係を可変にし、これをユーザが設定できるようにしてもよい。

【0142】図12(A)に示すように、例えば640画素×480画素の画像の所定の領域を表示領域Aとし、表示領域Aの画像をLCD6の画面上に再生して表示させた状態(ズームインした状態)で、ユーザが電子カメラ1をY軸の回りに回転させると、表示領域Aは、仮想的に画面上を左右に移動し、それに伴って、LCD6に表示される画像が左右にスクロールする。同様に、ユーザが電子カメラ1をX軸の回りに回転させると、表示領域Aは仮想的に画面上を上下に移動し、それに伴って、LCD6に表示される画像が上下にスクロールする。

【0143】また、X軸回りの回転とY軸回りの回転を組み合わせたような回転を電子カメラ1に与えることにより、表示領域Aを仮想的に画面上の任意の方向に任意の画素数だけ移動させることができる。従って、LCD6に表示された画像を任意の方向にスクロールさせるこ

とができる。

【0144】図12(A)に示すように、記録された画像の中に表示領域Aが設定され、表示領域A内の画像がLCD6の画面上に表示されている状態で、図1に示したズームスイッチ60を操作し、LCD6に表示されている画像のズームアップを指示すると、例えば、図12(B)に示すように、表示領域Aより小さい表示領域Bが仮想的に画面上に設定される。そして、LCD6の画面上には表示領域B内の画像が画面全体に表示される。すなわち、画像がさらに拡大されて表示される。

【0145】図12(B)に示すように、画像がさらに拡大された場合でも、図12(A)の場合と同様に、電子カメラ1を回転させることにより、表示領域Bを仮想的に記録された画像上の任意の方向に移動させることができる。それに伴って、LCD6に表示された拡大された画像が任意の方向にスクロールする。このような再生画像の拡大は、図1に示したズームスイッチ60を操作することにより、行うことができる。

【0146】また、図13(A)に示したように、所定の選択項目とカーソルが表示されたメニュー画面上において、電子カメラ1の移動または回転により、カーソルを移動させ、所定の項目を選択するようにすることができる。この例の場合、各項目「RECORDING」、「PLAY BACK」、「SLIDE SHOW」、「SET UP」が上下方向に並べられ、電子カメラ1の移動または回転により、カーソルが上下方向に移動する。例えば、電子カメラ1をX軸回りに回転させることにより、項目「SET UP」にカーソルを移動させた状態で、実行キー7Bを選択したり、リリーススイッチ10を押すことにより、「SET UP」を選択することができる。これにより、LCD6の画面上には、図13(B)に示すようなセッティング項目が表示される。

【0147】セッティング項目は、この例の場合、2ページに渡って表示され、電子カメラ1をX軸方向に回転させることにより、1ページ目と2ページ目を交互に切り替えて表示させることができる。ユーザは、所望のセッティング項目のあるページを表示させ、ベン41等を操作したり、図示せぬカーソルをカメラの回転に合わせて移動させた後、リリーススイッチ10を押したり、実行キー7Bを選択することにより、それを選択する。

【0148】次に、図11のステップS10において、ユーザによって他の処理の実行が指示されたか否かが判定される。他の処理の実行が指示されていないと判定された場合、ステップS11に戻り、ステップS11の処理が繰り返して実行される。一方、他の処理の実行が指示されたら判定された場合、ステップS12に進み、他の処理を実行し、処理を終了する。

【0149】このように、電子カメラ1を移動または回転させることによって、画面上に表示された画像のスクロールやカーソルの移動を簡単に行うことができるので、

特に、携帯機器の操作性を向上させることができる。

【0150】図14は、本発明を適用した電子カメラの他の実施の形態の構成例を示すブロック図である。この実施の形態においては、図6に示した実施の形態に、圧電ジャイロ61と、圧電ジャイロ駆動回路62を設けるようにしている。その他の構成および動作は、図6を参照して上述した場合と同様であるので、ここではその説明は省略する。

【0151】圧電ジャイロ61は、回転による角速度を2軸に関して検出し、対応する信号を出力するようになっている。圧電ジャイロ駆動回路62は、圧電ジャイロ61に電力を供給するとともに、圧電ジャイロ61からの信号をCPU39に供給するようになっている。

【0152】次に、図15に示したフローチャートを参照して、圧電ジャイロ61を用いて電子カメラ1の回転を検出し、画面上に表示された画像をスクロールさせたり、カーソルを移動させる場合の処理手順について説明する。

【0153】最初に、ステップS21において、圧電ジャイロ61により検出されたX軸回りの角速度に対応する信号が、圧電ジャイロ駆動回路62を介してCPU39に供給される。次に、ステップS22において、圧電ジャイロ61により検出されたY軸回りの角速度に対応する信号が圧電ジャイロ62を介してCPU39に供給される。次に、ステップS23に進み、ステップS21、S22において検出されたX軸回りの角速度およびY軸回りの角速度に応じた画像のスクロール方向、およびスクロール量が算算される。

【0154】ここで、角速度とスクロール量の関係を、次のように設定することができる。すなわち、撮影レンズ3の水平方向の撮影角度 θ 、LCD6の水平方向の画素が280画素であり、撮影範囲の全てがLCD6に表示されるように構成されている。そして、例えば、電子カメラ1がX軸回りに $\theta/10$ だけ回転したことを角速度より検出した場合、LCD6上に表示された画像を、LCD6の水平方向の画素数の $1/10$ である28画素分だけ上下方向に移動させる。また、電子カメラ1をY軸の回りに回転したことを角速度より検出した場合も、X軸回りに回転した場合と同様に同様にして、LCD6に表示された画像を左右方向に移動させる。

【0155】このことにより、撮影時にLCD6により撮影画像をモニタしながら、電子カメラ1を上下左右に振った場合に撮影画像が移動するのと同様に、再生時に電子カメラ1を上下左右に振ることにより、あたかも、撮影画像が移動しているかのような感覚で、再生画像をスクロールさせるようにすることができる。むしろ、この設定をデフォルトとした上で、電子カメラ1の回転量とLCD6に表示された画像のスクロール量との関係を可変にし、これをユーザが設定できるようにしてもよい。

【0156】ステップS24においては、ステップS23において演算されたスクロール方向およびスクロール量に応じて、図12および図13を参照して上述した場合と同様にして、LCD6の画面に表示された画像をスクロールさせたり、カーソルを移動させる。

【0157】このように、圧電ジャイロ61を用いて電子カメラ1の回転を検出するようにより、ユーザが電子カメラ1を回転させるのに応じて、LCD6の画面に表示された画像をスクロールさせたり、カーソルを移動させたりすることができる。

【0158】図16は、本発明を適用した電子カメラ1のさらに他の実施の形態の構成図を示すブロック図である。この実施の形態においては、図6に示した実施の形態に、電子コンパス71と、電子コンパス駆動回路72を設けるようにしている。その他の構成および動作は、図6を参照して上述した場合と同様であるので、ここではその説明は省略する。

【0159】電子コンパス71は、ホール素子等の磁気素子により構成され、地磁気を検出して方位を検出するものである。電子コンパス駆動回路72は、電子コンパス71に電力を供給するとともに、電子コンパス71によって検出された方位に対応する信号をCPU39に供給するようになされている。

【0160】次に、図17に示したフローチャートを参照して、電子コンパス71を用いて電子カメラ1の回転を検出し、画面に表示された画像をスクロールさせたり、カーソルを移動させる場合の処理手順について説明する。

【0161】最初に、ステップS31において、電子コンパス71により、北極点の方向が検出される。検出された北極点の方向に対応する信号は、電子コンパス駆動回路72によりCPU39に供給される。次に、ステップS32において、CPU39により、北極点の方向と、電子カメラ1を基準としたX軸方向との差 D_x が演算され、バッファメモリ36に記憶される。ステップS33においては、CPU39により、北極点の方向と、電子カメラ1を基準としたY軸方向との差 D_y が演算され、バッファメモリ36に記憶される。

【0162】次に、ステップS34において、前回記憶しておいた北極点の方向と電子カメラ1のX軸方向およびY軸方向との差 D_x 、 D_y があるか否かが判定される。前回記憶しておいた差 D_x 、 D_y がないと判定された場合、ステップS31に戻り、ステップS31以降の処理が繰り返し実行される。一方、前回記憶しておいた差 D_x 、 D_y があると判定された場合、ステップS35に進み、CPU39により、前回の D_x 、 D_y と、いま検出された D_x 、 D_y との差 ΔD_x 、 ΔD_y が演算される。

【0163】次に、ステップS36において、CPU39は、LCD6の画面に表示された画像を、差 ΔD_x 、

ΔD_y に対応する方向に、対応する画素数だけスクロールさせる。あるいは、LCD6の画面に表示されたカーソルを、差 ΔD_x 、 ΔD_y に対応する方向に、対応する画素数だけ移動させる。

【0164】撮影レンズ3の水平方向の撮影角度が θ 、LCD6の水平方向の画素が280画素であり、撮影範囲が全てLCD6に表示されるように構成されているものとする。そして、CPU39は、例えば、電子カメラ1がY軸回りに $\theta/10$ だけ回転したことを、電子コンパスの検出する方位の差位によって検出した場合、LCD6上の画像も水平方向の画素数の $1/10$ 画素である28画素だけ左右方向に移動させる。電子カメラ1をX軸回りに回転させた場合も、電子カメラ1をY軸回りに回転させた場合と同様に、LCD6上に表示された画像を上下方向に移動させる。

【0165】このことにより、撮影時にLCD6により撮影画像をモニタしながら、電子カメラ1を上下左右に振った場合に撮影画像が移動するとともに、再生時に電子カメラ1を上下左右に振ることにより、あたかも撮影画像が移動しているかのような感覚で、再生画像がスクロールするようにすることができる。ちなみに、この設定をデフォルトとした上で、電子カメラ1の回転量とLCD6に表示された画像のスクロール量との関係を可変にし、これをユーザが設定できるようにしてもよい。

【0166】ステップS37においては、ユーザにより、他の処理の実行が指示されたか否かが判定される。他の処理の実行が指示されていないと判定された場合、ステップS1に戻り、ステップS1以降の処理が繰り返し実行される。一方、ユーザにより、他の処理の実行が指示されたと判定された場合、ステップS38に進み、他の処理が実行され、処理を終了する。

【0167】このように、電子コンパス71を用いて電子カメラ1の回転を検出するようにより、ユーザが電子カメラ1を回転させるのに応じて、LCD6の画面に表示された画像をスクロールさせたり、カーソルを移動させたりすることができる。

【0168】また、図12に示したように、本願出願人が「特開平8-153783」において提案した、ズームレンズのズーム部材によって、再生画像の拡大縮小の操作を行うという方法と、本発明とを組み合わせてもよい。これにより、撮影レンズ3によるズームの操作と同一の操作で、再生時の電子ズームが可能となるとともに、再生時のスクロール操作も撮影時と同様の感覚で行うことができ、使用勝手に向上させることができる。

【0169】次に、図18に示したフローチャートを参照して、CCD20によって時系列的に取り込まれた画像に基づいて、電子カメラ1の移動および回転を検出し、画面表示を制御する他の方法について説明する。

【0170】最初に、ステップS41において、CCD

20による画像の取り込みを行う。すなわち、CPU39は、画像処理部31を制御し、CCD20が光電変換した画像信号を所定のタイミングでサンプリングする。サンプリングされた画像信号は、A/D変換回路32においてディジタルの画像データに変換され、DSP33により一旦バッファメモリ36に供給される。そして、DSP33によりバッファメモリ36に記憶された画像データが読み出され、圧縮処理が施された後、メモリカード24に供給され、記憶される。

【0171】次に、ステップS42に進み、CPU39により、ステップS41において取り込まれた画像のコントラストが十分であるか否かが判定される。すなわち、取り込まれた画像の中から、コントラストが高い複数の部分を抽出することができると判定される。例えば、背景が真暗な場合、コントラストのある画像を取り込むことはできない。取り込んだ画像のコントラストの高い複数の部分を抽出することができると判定された場合、ステップS45に進む。

【0172】一方、コントラストの高い複数の部分を抽出することができないと判定された場合、ステップS43に進み、CPU39は赤目軽減LED駆動回路38を制御し、赤目軽減LED15を点灯させる。これにより、電子カメラ1の面X1側にある物体に対して光が照射される。次に、ステップS44において、再度、上述した場合と同様にして、CPU39の制御により、CCD20による画像の取り込みが行われる。このとき、赤目軽減LED15が点灯しているため、取り込まれた画像にはコントラストがあり、コントラストの高い複数の部分を抽出することができる。CCD20による画像の取り込みが終了すると、CPU39は、赤目軽減LED駆動回路38を制御し、赤目軽減LED15を消灯する。

【0173】ステップS45においては、CPU39により、メモリカード24に取り込まれた画像の中のコントラストの高い複数の部分が抽出され、ステップS46において、それらの部分の画面上での座標値 P_m 、 P_n が、例えばバッファメモリ36に記憶される。ここで、 n はコントラストの高い複数の部分に対応する番号を表している。

【0174】次に、ステップS47において、前部記憶しておいたコントラストの高い複数の部分の座標値 P_m があるか否かが判定される。前部記憶しておいた座標値 P_m がないと判定された場合、ステップS41に戻り、ステップS41以降の処理が再度実行される。ステップS41乃至S47が実行される周期は、例えば、画像を取り込む周期に合わせて30ヘルツ(Hz)とすることができる。従って、赤目軽減LED15は30ヘルツ(Hz)の周期で間欠的に点滅することになる。

【0175】また、背景が真暗な場合、赤目軽減LED15の代わりに、他の図示せぬ照明装置を用いて背景

に照明光をあて、CCD20によるコントラストのある画像の取り込みを可能にするようにすることもできる。

【0176】一方、前部記憶しておいた座標値 P_m があると判定された場合、ステップS48に進み、前部記憶しておいた座標値 P_m と、いま抽出した座標値 P_n との差 ΔP_m 、 ΔP_n を求める。

【0177】次に、ステップS49に進み、CPU39により、差 ΔP_m 、 ΔP_n に基づいて、電子カメラ1が、図19に示すように、撮影レンズ3の光軸方向とほぼ平行な方向に平行移動したか否かが判定される。この判定は、ステップS45において抽出された複数のコントラストの高い部分の時系列的な変化に基づいて行われる。例えば、図20に示すように、CCD20によって取り込まれた画像のコントラストの高い複数の部分が、画像の中心付近から遠ざかるような動きを、若しくは、画像の中心付近に向かって近づくような動きをした場合、電子カメラ1は、レンズ3の光軸方向にほぼ平行な方向に平行移動したと判定される。

【0178】電子カメラ1の移動が光軸方向にほぼ平行な方向への平行移動であると判定された場合、ステップS53に進み、CPU39の制御により、ズームング処理が行われる。例えば、電子カメラ1を図19のベクトルM1の方向に平行移動させた場合、CPU39はLCD6の画面上に表示中の画像を拡大して表示させる。一方、電子カメラ1を図19のベクトルM2の方向に平行移動させた場合、CPU39はLCD6の画面上に表示中の画像を縮小して表示させる。

【0179】一方、ステップS49において、電子カメラ1の移動がレンズ3の光軸方向とほぼ平行な方向への平行移動ではないと判定された場合、ステップS50に進み、電子カメラ1が図10に示したように、電子カメラ1の中心から面X2の中心を通るZ軸の回りに所定の角度だけ回転されたか否かが判定される。この判定は、ステップS45によって抽出された複数のコントラストの高い部分の時系列的な変化に基づいて行われる。例えば、図21に示すように、コントラストの高い複数の部分が、画像の中心点付近の回りに所定の角度だけ回転するように移動した場合、電子カメラ1がZ軸の回りに所定の角度だけ回転したと判定される。

【0180】電子カメラ1がZ軸の回りに所定の角度だけ回転されたと判定された場合、ステップS54に進み、電子カメラ1の回転が時計回りの回転であるか否かが判定される。時計回りの回転であると判定された場合、ステップS55において、LCD6の画面上に表示されている画像を時計回りに例えば90度だけ回転させる。一方、ステップS54において、電子カメラ1の回転が時計回りの回転ではないと判定された場合、ステップS56に進み、LCD6の画面上に表示されている画像を反時計回りに例えば90度だけ回転させる。

【0181】また、ステップS50において、電子カメ

ラ1が2軸回りに回転していないと判定された場合、ステップS51に進み、スクロール禁止スイッチが押されているか否かが判定される。ここで、スクロール禁止スイッチは、専用のスイッチを新たに設けてもよいし、リリーススイッチ10や録音スイッチ12を代用するようにしてもよい。その場合、再生中にリリーススイッチ10または録音スイッチ12が押された場合、これらのスイッチはスクロール禁止スイッチとして動作するようにする。

【0182】スクロール禁止スイッチが押されていると判定された場合、CPU39は、LCD6の画面上に表示された画像のスクロールは行わないので、ステップS41に戻り、ステップS41以降の処理が繰り返して実行される。一方、スクロール禁止スイッチが押されていないと判定された場合、ステップS52に進む。

【0183】ステップS52においては、 ΔP_x 、 ΔP_y （ ΔP_x 、 ΔP_y ）に対応する所定の方向に、所定の画素数だけ、画面上に表示された再生画像をスクロールさせる。スクロールの詳細な手順については、図11のフローチャートを参照して上述した場合と同様であるので、こ

こではその説明は省略する。

【0184】ステップS53、ステップS55、ステップS56、またはステップS52における処理が終了すると、ステップS57に進む。ステップS57においては、他の処理が指示されたか否かが判定される。他の処理が指示されていないと判定された場合、ステップS41に戻り、ステップS41以降の処理が繰り返して実行される。一方、他の処理が指示された場合、ステップS58に進み、他の処理が実行された後、処理を終了する。

【0185】例えば、図22に示すように、記録された画像の中の位置L1に表示領域Cが仮想的に設定され、表示領域C内の画像がLCD6の画面上に表示されている状態で、電子カメラ1をY軸の回りの所定の方向に回転させると、表示領域Cは記録された画像の中を仮想的に移動する。そして、例えば、最終的に位置L2に移動したとする。その結果、LCD6の画面上には、位置L2の表示領域C内の画像が表示されることになる。

【0186】この状態で、さらに記録された画像内の表示領域を仮想的に移動させ、位置L3の表示領域C内の画像をLCD6の画面上に表示させたい場合、電子カメラ1を持つ手をさらにY軸の回りの上記方向に回転させるのは困難な場合がある。その場合、一旦、スクロール禁止スイッチを押しながら、電子カメラ1をY軸回りの上記方向とは逆の方向に回転させる。その間、スクロール禁止スイッチが押されているため、LCD6の画面上には、記録された画像上の位置L2の表示領域C内の画像が継続して表示されることになる。

【0187】次に、スクロール禁止スイッチを押すことを止め、記録された画像上において表示領域Cを位置L

2から位置L3に仮想的に移動させるように、電子カメラ1をY軸の回りの所定の方向に回転させる。これにより、表示領域Cは記録された画像上において位置L3に移動し、LCD6の画面上には、位置L3での表示領域C内の画像が表示される。このように、スクロール禁止スイッチを用いることにより、電子カメラ1をY軸の回りに回転させる操作を複数回行うことによつて、表示領域Cを、記録された画像上の任意の位置に移動させることができる。

【0188】即ち、電子カメラ1をY軸の回りに1回の操作で回転可能な角度に対応する、記録された画像上での表示領域Cの移動距離が、記録された画像の大きさに比べて小さい場合でも、上記回転操作を所定の回数だけ繰り返すことにより、表示領域Cを、記録された画像上の任意の位置に移動させることができる。

【0189】ここでは、電子カメラ1をY軸の回りに回転させる場合について説明したが、X軸の回りに回転させる場合についても、上述した場合と基本的に同様にして、表示領域Cを、記録された画像上において上下方向に移動させることができる。また、X軸の回りの回転と、Y軸の回りの回転を組み合わせた回転の場合も同様である。その場合、表示領域Cを、記録された画像上において任意の方向に移動させることができる。

【0190】このように、スクロール禁止スイッチを用いることにより、電子カメラ1をX軸の回り、またはY軸の回りに回転させる操作、あるいはそれらを組み合わせる回転させる操作を複数回に分けて行うようにすることができるので、記録された画像の大きさに拘らず、電子カメラ1の回転により、表示領域Cを任意の方向に移動させることができる。即ち、LCD6の画面上に表示された画像を任意の方向にスクロールさせることができる。

【0191】また、上記実施の形態において、図11、図15、図17、および図18のフローチャートに示した各処理をCPU39に行わせるプログラムは、電子カメラ1のROM43やメモリアード24等に記憶できるようにすることができる。また、このプログラムは、予め上記ROM43やメモリアード24に記憶された状態で使用者に供給されるようにしてもよいし、ROM43やメモリアード24にコピー可能なように、CD-ROM (compact disc-read only memory) 等に記憶された状態で使用者に供給されるようにしてもよい。その場合、ROM43は、例えば、電気的に書き換え可能なEEPROM (electrically erasable nonprogrammable read only memory) 等で作成するようにすることができる。

【0192】なお、上記実施の形態においては、ファイナ2を光学的なものとしたが、液晶を用いた液晶ファインディングを用いるようにすることも可能である。

【0193】また、上記実施の形態においては、撮影レ

ンズ、ファインダー、発光部をこの順で、電子カメラの正面から見て、左から順に並べるようにしたが、右から順に並べるようにすることも可能である。

【0194】また、上記実施の形態においては、マイクロホンを1つだけ設けるようにしたが、マイクロホンを左右に2つ設けるようにし、音声をステレオで記録するようになることも可能である。

【0195】また、上記実施の形態においては、ペン型指示装置を用いて各種情報を入力するようにしたが、指を用いて入力するようにすることも可能である。

【0196】また、LCD6に表示された表示画面は一例であって、これに限定されるものではなく、様々なレイアウトの画面を用いるようにすることが可能である。同様に、操作キーの種類やレイアウトも一例であって、これに限定されるものではない。

【0197】また、上記実施の形態においては、スクロール禁止スイッチを押すことにより、スクロールを禁止することができるようにしたが、逆に、スクロールを許可するスクロール許可スイッチを設け、スクロール許可スイッチを押している間だけ、電子カメラの回転に従ってLCD6の画面に表示された画像がスクロールし、スクロール許可スイッチを押していないときは、電子カメラ1を回転させても画像がスクロールしないようにすることも可能である。また、その場合、リリーススイッチ10や録音スイッチ12をスクロール許可スイッチとして代用するようにすることができ。

【0198】また、上記実施の形態においては、図18のフローチャートを参照して上述したズーム処理において、ズーム処理を禁止するズーム禁止スイッチ、あるいはズーム処理を許可するズーム許可スイッチを設け、スクロール禁止スイッチやスクロール許可スイッチの場合と同様の操作を可能とすることができる。その場合にも、リリーススイッチ10や録音スイッチ12をズーム禁止スイッチあるいはズーム許可スイッチとして代用するようにすることができる。

【0199】また、上記各実施の形態においては、本発明を電子カメラに適用した場合について説明したが、その他の携帯用機器に本発明を適用することも可能である。

【0200】また、上記各実施の形態においては、取り込んだ画像に基づいて電子カメラ1の移動および回転を検出する場合、取り込んだ画像のコントラストの時系列的な変化によって行うようにしたが、取り込んだ画像の色の時系列的な変化によって電子カメラ1の移動および回転を検出するようにすることも可能である。あるいは、その他の画像処理によって検出するようにすることも可能である。

【0201】さらに、上記各実施の形態において、ビデオ信号を出力する端子を設け、外部のテレビジョン受像

機やモニタに、電子カメラ1のLCD6に表示される画像やメニュー画面を表示させるようにすることもできる。

【0202】

【発明の効果】請求項1に記載の情報処理装置によれば、表示手段が、画像、文字、および図形の少なくともいずれか1つを表示し、表示手段と一体的に設けられた検出手段が、表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方を検出し、表示変更手段が、検出手段により検出された表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方に応じて、表示手段に表示する表示内容を変更するようにしたので、装置全体を移動または回転させることにより、画面の表示を変更することができる。従って、携帯機器等の画面の表示内容を変更する場合の操作性を向上させることができる。

【0203】請求項14に記載の記録媒体によれば、検出手段により検出された表示手段の移動および回転の少なくともいずれか一方に応じて、表示手段に表示する表示内容を変更するように表示変更手段を制御するプログラムを記録したので、装置全体を移動または回転させることにより、画面の表示を変更することができる。従って、携帯機器等の画面の表示内容を変更する場合の操作性を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用した電子カメラの一実施の形態を正面の側から見た斜視図である。

【図2】電子カメラ1をLCDカバー14を開けた状態で背面の側から見た斜視図である。

【図3】電子カメラ1をLCDカバー14を閉じた状態で背面の側から見た斜視図である。

【図4】電子カメラ1の内部の構成例を示す図である。

【図5】電子カメラ1のLCDスイッチ25とLCDカバー14の動作を説明する図である。

【図6】電子カメラ1の内部の電気的構成例を示すブロック図である。

【図7】開閉処理を説明するための図である。

【図8】開閉処理の他の例を示す図である。

【図9】電子カメラ1のLCD6に表示される表示画面例を示す図である。

【図10】電子カメラ1を基準として定義した、X軸およびY軸を示す図である。

【図11】LCD20によって時系列的に取り込まれた画像に基づいて、電子カメラ1の移動および回転を検出し、画面表示を制御する方法を説明するフローチャートである。

【図12】画像とLCD6に表示される表示領域との関係を示す図である。

【図13】メニュー画面およびセットアップ項目選択画面を示す図である。

【図14】電子カメラ1の内部の他の電気的構成例を示す図である。

サブブロック図である。

【図15】圧電ジャイロ61によって検出された角速度に基づいて、電子カメラ1の回動を検出し、画面表示を制御する方法を説明するフローチャートである。

【図16】電子カメラ1の内部のさらに他の電気的構成例を示すブロック図である。

【図17】電子コンパス71によって検出された方位に基づいて、電子カメラ1の回動を検出し、画面表示を制御する方法を説明するフローチャートである。

【図18】CCD20によって時系列的に取り込まれた画像に基づいて、電子カメラ1の移動および回動を検出し、画面表示を制御する方法を説明するフローチャートである。

【図19】電子カメラ1を撮影レンズ3の光軸方向にはほぼ平行な方向に平行移動させる操作を示す図である。

【図20】図19の操作を行ったときのCCD20によって取り込まれた画像の時系列的な変化を示す図である。

【図21】電子カメラ1をZ軸の回りに回動させたときのCCD20によって取り込まれた画像の時系列的な変化を示す図である。

【図22】スクロール禁止スイッチを用いて、LCD6の画面に表示された画像をスクロールさせる方法を説明する図である。

【符号の説明】

- 1 電子カメラ
- 2 ファインダ
- 3 撮影レンズ
- 4 発光部（ストロボ）
- 5 スピーカ
- 6 LCD（表示手段）
- 6A タッチタブレット
- 7 操作キー
- 7A メニューキー
- 7B 実行キー
- 7C キャンセルキー
- 7D デリートキー
- 7E スクロールキー
- 8 マイクホン

9 イヤホンジャック

10 リリーススイッチ（禁止手段）

11 電源スイッチ

12 録音スイッチ（禁止手段）

13 通写モード切り換えスイッチ

15 赤目軽減LED

16 測光素子

17 測色素子

20 CCD（検出手段、撮像手段）

21 バッテリ

22 コンデンサ

23 駆動基板

24 メモリカード（記憶手段）

26 ファインダ内表示素子

30 レンズ駆動回路

31 画像処理部

32 アナログ/ディジタル変換回路（A/D）

33 デジタルシグナルプロセッサ（DSP）

34 CCD駆動回路

35 フレームメモリ

36 バックアップメモリ

37 ストロボ駆動回路

38 赤目軽減LED駆動回路

39 CPU（表示変更手段、制御手段）

40 ファインダ内表示回路

41 ペン

42 A/D-D/A変換回路

43 ROM

45 タイマ

30 インタフェース

51 測光回路

52 測色回路

53 絞リ駆動回路

54 絞リ

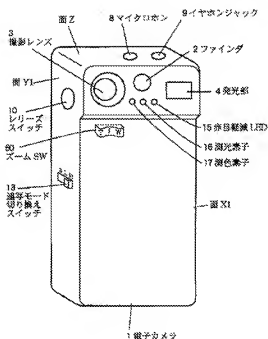
61 圧電ジャイロ（検出手段）

62 圧電ジャイロ駆動回路

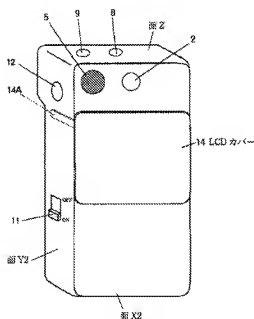
71 電子コンパス（検出手段）

72 電子コンパス駆動回路

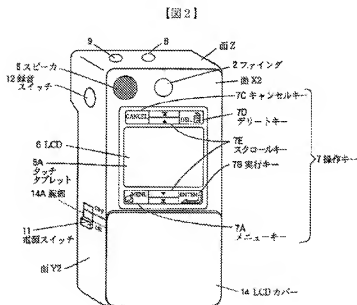
【図1】



【図3】



【図7】



2×2画素の領域

a	b	a	b	a	b	b	b
c	d	c	d	c	d	c	d
a	b	a	b	a	b	a	b
c	d	c	d	c	d	c	d
a	b	a	b	a	b	a	b
c	d	c	d	c	d	c	d

CCD 20

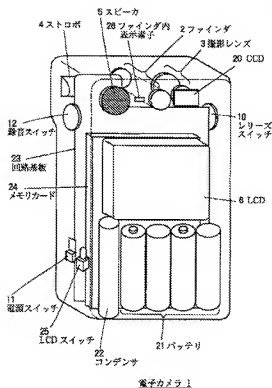
【図8】

3×3画素の領域

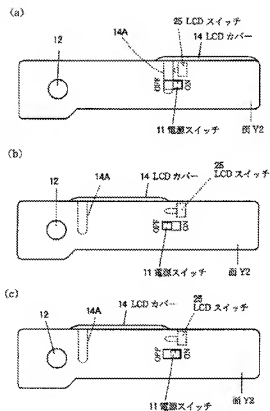
a	b	c	a	b	c	a	b	c
d	e	f	d	e	f	d	e	f
g	h	i	g	h	i	g	h	i
a	b	c	a	b	c	a	b	c
d	e	f	d	e	f	d	e	f
g	h	i	g	h	i	g	h	i

CCD 20

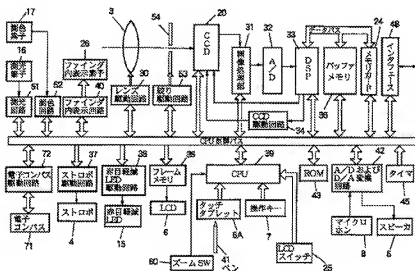
【図4】



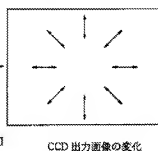
【図5】



【図6】

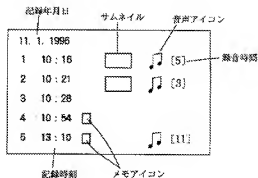


【図20】

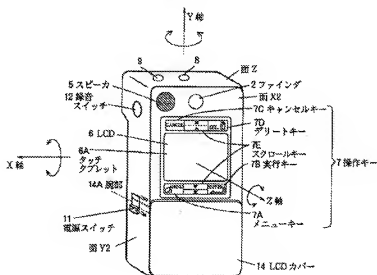


CCD出力画像の変化

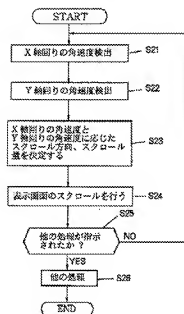
【図9】



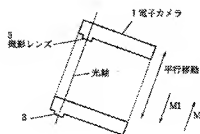
【図10】



【図15】

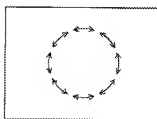


【図19】



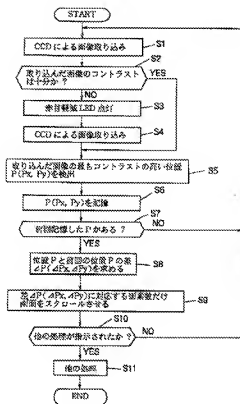
ズーム操作

【図21】

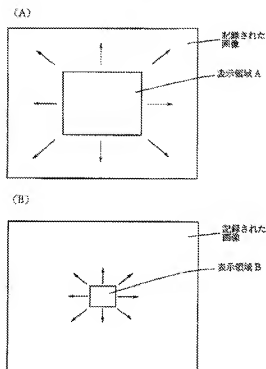


CCD 出力画像の変化

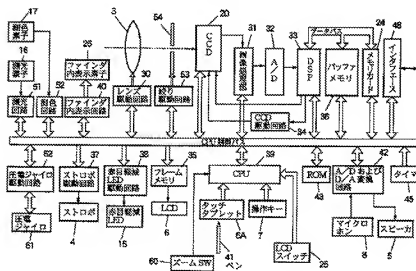
【図11】



【図12】



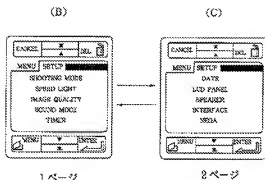
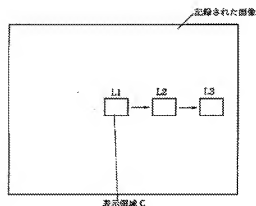
【図14】



【図13】

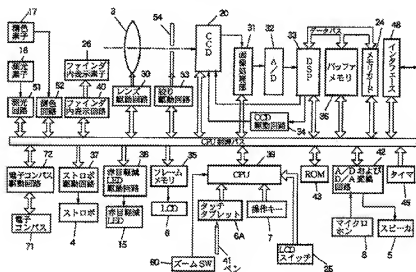


【図22】

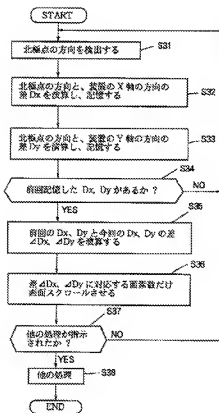


セットアップ項目選択画面

【図16】



【図17】



【図18】

